



海の京都

舞鶴

赤れんがと潮風が、出会うまち。

舞鶴市・舞鶴観光協会

赤と青の協奏曲。

舞鶴は赤れんがと青い海の
コントラストが美しい
「絵に描きたいまち」です。

眼前に広がる、青い海と青い空。

リアス海岸特有の起伏に富んだ美しい地形。

昭和の初期にかけて工場や倉庫などの海軍施設を
中心にさまざまな赤れんが建物がつくられました。
それから120年余りの時を経た今もなお、当時の
建物が多く残され、赤と青のコントラストが美しい
「絵に描きたいまち」として多くの人を魅了しています。
色彩豊かな舞鶴のまちを、あなたも歩いてみませんか。



Contents

Red Side P3

近代日本の礎を築いた
赤れんが

Blue Side P9

交流の扉を開いた
港

◎舞鶴物語～其の壱～（伝記・東郷平八郎） P13
20世紀日本の曙を求めて

◎舞鶴物語～其の弐～（舞鶴港引揚物語） P15
再会のまち舞鶴

◎舞鶴物語～其の参～（田辺籠城戦記） P17
もうひとつの関ヶ原

■赤グルメ■青グルメ P19

まちをいろどる、豊かな食文化

・舞鶴名画座へ、ようこそ。 P21

・舞鶴歳時記～季節の歌を、まちの色彩を、愉しむ～ P25

・舞鶴エリアマップ（東エリア・西エリア） P27

・施設連絡先一覧 P30

■写真提供 P13: ※成生地区から見た朝日 濑野 徹 氏

近代日本の礎を築いた

赤れんがパーク

魚雷庫、小銃庫など海軍関連の施設をはじめトンネルや橋脚などの生活基盤まで、
舞鶴では日本が近代化を進めていくための礎としてさまざまな赤れんが建造物がつくられました。
それから120年余りの時を経た今もなお舞鶴にはその近代化遺産が数多く残され、
当時の「ハイカラ」を感じさせるまちなみが続きます。

舞鶴赤レンガ

海軍が築いた、
美しい赤れんがの風景。

明治34年から大正10年頃までに建てられた赤れんが倉庫。
平成24年5月に赤れんがパークとしてリニューアルオープンしました。

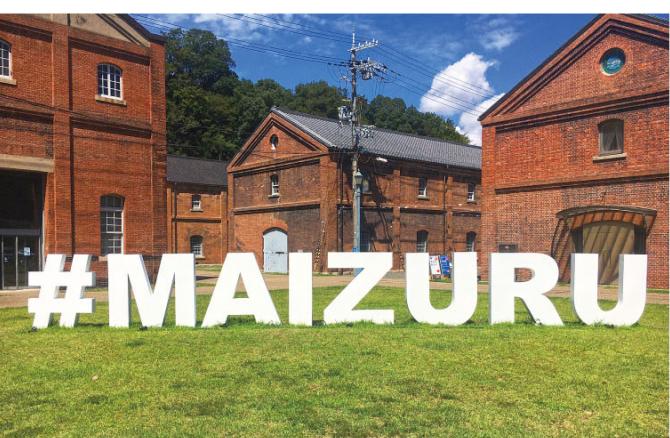


時を刻む赤れんが

近代化へと歩む明治の躍動が120年の時を経て現代によみがえりました。

明治・大正の浪漫が薫るロマンティックストリート

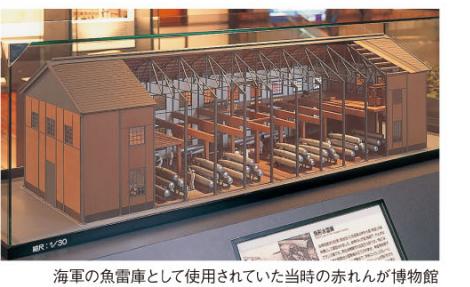
青い海が広がる舞鶴港ウォーターフロント（海軍舞鶴鎮守府一帯）。その一角を赤く染めあげ、美しいコントラストを見せる場所があります。それが「舞鶴赤れんがパーク」と呼ばれているエリアです。このエリアには



1901(明治34)年の舞鶴鎮守府開庁にあわせて多くの赤れんがづくりの海軍倉庫が集中して建てられ、今も12棟が残っています。

この「舞鶴赤れんがパーク」以外にも、舞鶴東地区には官舎や造船所など、さまざまな海軍施設が点在しており、まるで明治時代に

タイムスリップしたかのような、レトロでロマンティックなまちなみが続きます。夜、季節によってさまざまな表情が楽しめるのも舞鶴ならではの特長です。近年では、ジャズのライブイベントやアートスペースとしての活用など、歴史遺産としてだけではなく、味わいや趣を持つた空間として注目が集まっています。



歴史を学び、未来を見つめるコミュニケーションスペース

この時代にタイムスリップ!! 古地図アプリのダウンロードはどちらから

① JR 東舞鶴駅 → ② 遊覧船で舞鶴湾めぐり → ③ 赤れんが博物館 → ④ 市政記念館 → ⑤ まいづる智恵蔵 → ⑥ 自衛隊 → ⑦ 海軍記念館(舞鶴地方総監部) → ⑧ 北吸トンネル → ⑨ J.R 東舞鶴駅

海軍ゆかりの港まちと赤れんがパークをめぐるルート。



赤れんが2号棟 (舞鶴市政記念館)
アート・展示スペースとして、海軍倉庫をリニューアル
国の重要文化財に指定されている倉庫群のひとつ。1902(明治35)年の建設当時は海軍兵器廠予備艦兵器庫でしたが、今は展示スペースやホール、海軍ゆかりメニューを楽しむことができるカフェを備え、人々の交流の場となっています。

○営業時間／9:00～17:00
(夜間利用の場合は22:00)
○休館日等、詳細はP.30参照
○問い合わせ／0773-66-1096

赤れんが1号棟 (赤れんが博物館)
れんがを専門とする世界で唯一の博物館
1903(明治36)年に建設された鉄骨れんが造りの魚雷庫を活用。モヘンジョダロや古代ローマの遺跡、万里の長城、原爆ドームなど、古代から現代まで世界各地のれんがを収集・保存・展示しています。

○営業時間／9:00～17:00
○休館日等、詳細はP.30参照
○問い合わせ／0773-66-1095

赤れんが5号棟 (イベントホール)

1918(大正7)年に海軍の水雷庫として建設された倉庫を多目的ホールとして整備しました。また、海自カレーを楽しむことができるカフェが設けられています。



赤れんが4号棟 (赤れんが工房)

1902(明治35)年に海軍の兵器庫として建設された倉庫はギャラリースペースやスタジオ等を備えた創作活動の拠点に。また、結婚式やコンサート、セミナー会場としても利用されています。



赤れんが3号棟 (まいづる智恵蔵)

明治後期の雰囲気を忠実に再現

1902(明治35)年に砲銃庫として建てられた赤れんが倉庫をそのまま利用したコワーキング・オフィススペース。瓦屋根や木柱ガラス窓なども当時の設計図を基に忠実に復元しています。

入り口にある丸型ボストンには郵便物を投函することができます。

○営業時間／9:00～17:00
○休館日等、詳細はP.30参照
○問い合わせ／0773-66-1035



RENEWAL

舞鶴赤れんがパークがさらなる進化

鎮守府開庁から120年以上が経過した赤れんが。今後よりたくさんの魅力を発信していくために様々なリニューアルを予定しています。

情報は随時更新されますので、最新の赤れんがパーク情報は右記をご確認ください。

舞鶴赤れんがパーク
○問い合わせ／0773-66-1096 URL <https://akarenga-park.com/>



さまざまなお土産が並ぶ赤れんがSHOP
(1階)

鎮守府開庁から120年余りの時を経た現在、倉庫のいくつかは改修され博物館や記念館として新たな命を吹き込まれ、現代によみがえっています。そのなかでも「旧海軍兵器廠予備艦兵器庫」だった「舞鶴市政記念館」は、現在では展示スペースなどとして使われているほか、舞鶴の歴史を紹介するコーナーも有しています。ほかにも、鉄骨れんが造りとしては日本最古級の建造物として知られる「旧海軍兵器廠魚形水雷庫」は「赤れんが工場」として再生、お土産ショップがあるほか、2階にはコワーキングスペースがあるなど姿を変えて、舞鶴市民に親しまれています。



旧軍港四市の連携



近代国家として西欧列強に渡り合うため、海防力を備えることが急務であった明治期の日本。軍港としてふさわしい良港4か所を選び、海軍鎮守府を開庁しました。静かな農漁村であつた四市は、海軍機関と共に、水道・鉄道などのインフラが急速に整備された近代的な重港都市に生まれ変わりました。百年を超えた今も現役で稼働する施設が多く、どこか懐かしくもたくましい、人々をひきつけてやまない魅力に満ちています。これら、日本の近代化を力強く支えた旧軍港四市の歴史に基づくストーリーが日本遺産に認定されました。

日本近代化の躍動を体感できるまち!
日本遺産認定 鎮守府 横須賀・吳・佐世保・舞鶴

赤れんがの風景

舞鶴には日本の近代化をささえたレトロな橋や建物、トンネルなどがあちこちに見られます。

舞鶴に数多く残る赤れんがの風景。トンネルや橋を中心、日本が近代化する上で整備された生活基盤施設などが120件以上も存在し、市内にいたるところで目にすることができます。文明開化から戦前・戦後と日本の近代化をささえてきたこれらの施設は、まさに日本の発展の足跡だった、というわけです。

新しい時代をつくるという希望に満ちた人々の熱気が近代日本を築きました。

日本海側で唯一の重港都市。それが舞鶴にさまざまな赤れんが建造物が残る最大の理由です。造船所をはじめ倉庫群や砲台、そしてれんがをつくるための窯など、多くの人々がここ舞鶴の地で懸命に働き、その結果、現在の舞鶴に広がる「赤れんがの風景」をつくりだしました。



旧北吸浄水場配水池

1901(明治34)年から大正期にかけて海軍の水道施設が建設されました。アーチ状にれんがが積まれているなど、意匠的にも貴重で、国の重要文化財に指定されています。(内部は通常非公開)



楨山砲台跡

1901(明治34)年、軍港開港にあわせ、天然の要害である舞鶴湾の地形を利用し、湾口を中心に7か所の砲台や保星砲台などから成る舞鶴要塞が築かれました。楨山砲台は湾口を望む山頂にあり、榴弾砲6門、臼砲4門を備えた砲台で、れんが造りの弾薬庫などが今なお当時の姿を留めています。

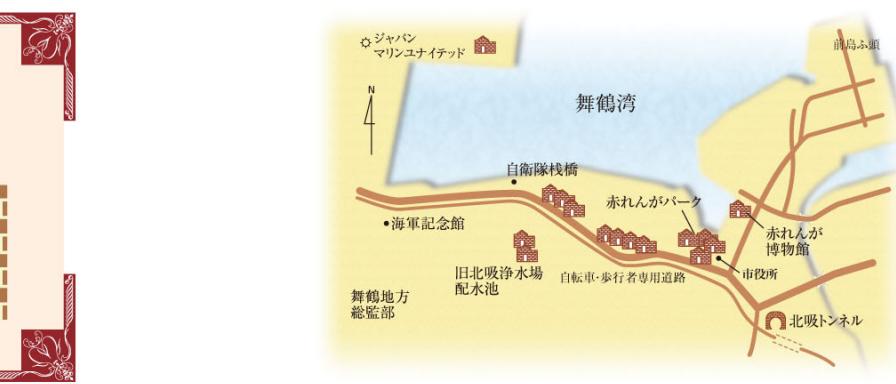


神崎ホフマン窯

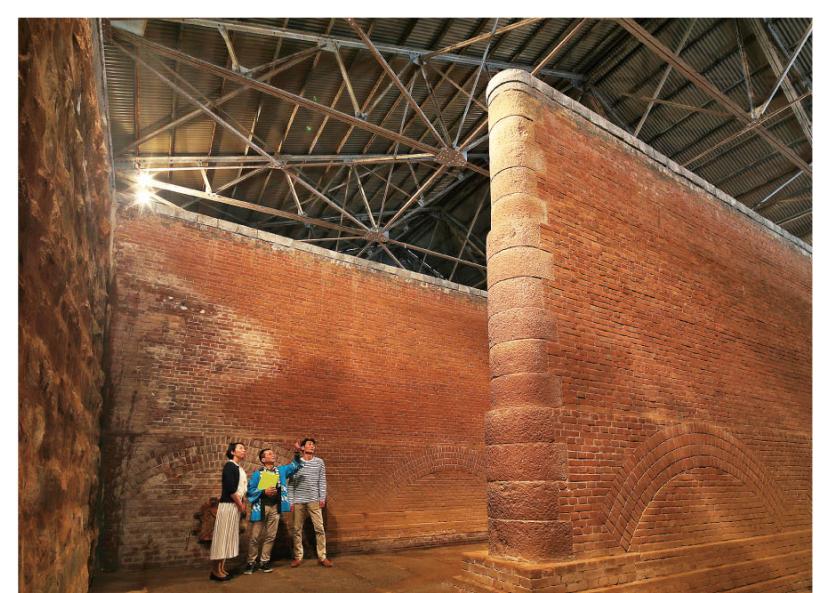
れんが製造のために建造された窯。連続焼成ができるホフマン窯は、現在日本で4基しか残っていない貴重な産業遺産で、国の登録有形文化財にも登録されています。(非公開)



かつては海軍工廠として駆逐艦などを建造していました。工場の敷地内には、数多くの近代化遺産が残っており、いざれも工場や倉庫等として現役で使用されています。(非公開)



建造物



(大内・上安久・伊佐津川) 明治37年

第六伊佐津川橋梁



第五伊佐津川橋梁(十倉・京田、伊佐津川)
明治37年



溝渠(真倉、一本杉踏切近く)

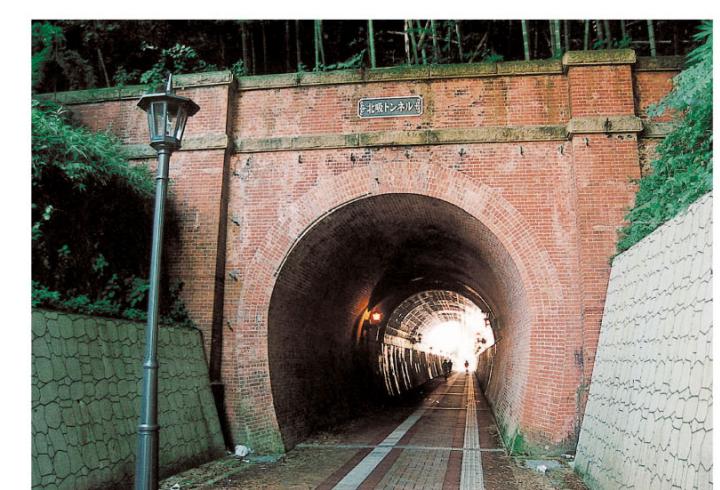


溝渠(円満寺、アーチ)

橋脚

西から東へ、北から南へ。人を乗せ、物を運んだ120年は日本の成長を見つめた時代でした。

鉄道の橋梁からまちをつなぐ道路の橋脚まで、今も昔も生活に欠かせない橋。明治時代に造られた赤れんがを用いた橋は、近年その姿を消しつつありますが、舞鶴市内ではいまだ現役で活躍しています。貴重な赤れんがの橋の姿を求めて、鉄道ファンをはじめ全国から訪れる人も少なくありません。



明治37年、軍港引込線として設けられた、れんがづくりのトンネル。

北吸トンネル

1904(明治37)年建設。トンネルの坑門や側壁は、れんがの長辺と短辺を交互に積み上げるイギリス積みが用いられています。当時は鉄道が走っており、海軍施設の物資運搬などに使用されていました。現在は自転車・歩行者道路として活用。美しいアーチ型のトンネルをくぐれば、当時のノスタルジックな世界を味わうことができます。



白鳥トンネル(明治37年)



第一真倉トンネル(明治37年)

トンネル

トンネルの向こうに未来を求めて、山を超えて、海を渡り時代の光をつないできました。

「舞鶴線」と「軍港引込線」(後の中舞鶴線)は、舞鶴鎮守府への資材輸送を主な目的として設営された鉄道路線。これらの鉄道は山間部を通るため、数多くのトンネルが建設されました。なかでも「北吸トンネル」は、国の登録有形文化財に登録されています。

赤れんがと対照的な舞鶴を象徴するもう一つの色。それは、海と空の青色です。

およそ5300年前の丸木舟が浦入遺跡から出土したことで、この地が縄文時代から海とともに歩んできたことを広く知らしめることになりました。以降、廻船問屋が栄える商港として、あるいは新鮮な魚介類があがる漁港として、鎮守府が開港された軍港として、戦後は引揚港としても有名です。

京都舞鶴港には、定員4000人を超える大型客船や豪華なラグジュアリーボートなど、バラエティに富んだクルーズ客船が入港しており、入港時には和太鼓や吹奏楽の演奏等でのお迎えや、舞鶴らしいおもてなしで港が賑わい、京都府北部の海の玄関として活気づいています。



大野辺緑地での「みなとオアシス」登録記念イベント

令和4年10月には旅客ターミナル「京都舞鶴港うみとびら」を代表施設として港の賑わい拠点となる「みなとオアシス」に登録されました。登録エリアの「大野辺緑地」では海上保安庁の巡回船や入港中のクルーズ船等を間近に見ることができます。

京都舞鶴港には、定員4000人を超える大型客船や豪華なラグジュアリーボートなど、バラエティに富んだクルーズ客船が入港しており、入港時には和太鼓や吹奏楽の演奏等でのお迎えや、舞鶴らしいおもてなしで港が賑わい、京都府北部の海の玄関として活気づいています。

国と国、人と人との結ぶ ネットワーク拠点

吉原入江

漁港や運河など、昔ながらの情緒ある漁師町。



京都舞鶴港（西港）第2ふ頭に停泊するクルーズ船「飛鳥II」



太鼓によるパフォーマンス



青色のハンカチを振って見送り

港のまち舞鶴の原風景をたずねて

浦入遺跡

太古の歴史ロマンが眠る古代海浜遺跡。

浦入遺跡出土品
(海を渡って交易していたことを示す富山県産蛇紋岩でできた耳飾り)

浦入遺跡出土 丸木舟 市指定文化財

浦入遺跡は舞鶴湾口の東側に位置し、浦入遺跡の出土品は、縄文時代からの海辺の人々の暮らしを今に伝える貴重な歴史遺産です。出土した約5300年前の丸木舟は、縄文時代の丸木舟としては日本最大級の大きさを誇り、外洋航海が可能であったと考えられています。縄文時代の海上交通を考える上で第一級の貴重な資料であり、海とともに歩んできた舞鶴の歴史を象徴するものです。



吉原入江（水無月橋付近）

伊佐津川河口の吉原地区は、昔なつかしい海辺の風景を今に残す漁師町です。岩浪稻荷神社から、河口に加工場、さらには映画「ニワトリはハダシだ」や映画「ぼくんち」のロケ地にもなった銭湯など「水辺の下町」ともいいくべき、漁師町ならではの情緒豊かなまちなみが続きます。ゆつたりした時の流れを感じながら、のんびりと、ぶらり散歩するのが楽しくなる吉原地区。運河のように街の中を船が行き交う姿は、この地区ならではの風景です。



青色のハンカチを振って見送り

交流の扉を開いた

天然記念物の冠島から丹後半島までが一望
できるビュースポット。

空山から望む

標高はおよそ550m。島全体が天然記念物になつてゐる冠島をはじめ沓島、さらには越前海岸から丹後半島にいたるまで見渡すかぎり青い海がひろがります。舞鶴のなかでも評判のビュースポットで、星空が綺麗なことでも有名です。空山からの眺めは絶景です。



日本初の海上プラネタリウムも
楽しめる船舶型ミュージアムが
係留されるシーパーク

舞鶴親海公園

舞鶴湾の入口・千歳地区にある海沿いに整備された公園。海釣りを楽しむほか、レストラン エムズデリでは行き交う船を眺めながら、お食事や自慢のスイーツを。また、船舶型ミュージアム「エル・マールまいづる」ではプラネタリウムも楽しめます。



目前に迫る迫力満点の護衛艦 海軍ゆかりの 港めぐり遊覧船

赤れんが博物館西側の赤れんがパーク遊覧船のりばから出航します。自衛隊桟橋に停泊する護衛艦などを間近に見る迫力一杯の景色を楽しめます。約35分の船旅で、舞鶴ならではのベイサイドビューを堪能ください。



出航時間／「舞鶴観光ネット」でご確認ください。

運航日／通年
※悪天候及び運航会社の都合により運休となる場合がございます。

料 金／大人(中学生以上)1,500円
小人(3歳～小学生)800円

◎問い合わせ／
舞鶴赤れんがパーク遊覧船窓口
9:00～17:00
090-5978-8711
◎団体予約・団体問合せ／
舞鶴観光協会
9:30～17:00(日・祝休業)
0773-77-5400



海に舞い降りた二羽の鶴を思わせる
日本海側最大級の斜張橋

舞鶴クレインブリッジ

舞鶴湾にかかる日本海側最大級の斜張橋。全長735m、水面からの高さは95mになります。二羽の鶴をイメージしてつくりされました。



「近畿百景第1位」に選ばれたパノラマビューは圧巻

五老スカイタワー

舞鶴のほぼ中央に位置し、標高301mの高さを誇る五老岳。その頂上にそびえる高さ50mの展望タワー、それが五老スカイタワーです。展望室からは、美しく広がるリアス式海岸の舞鶴湾と舞鶴市内が一望でき、360度パノラマビューが楽しめます。ここからの眺めは「近畿百景第1位」に選ばれており、迫力満点、見応え充分の景色です。

◎問い合わせ／0773-66-2582

どこまでもひろがる
海と空が
舞鶴ベイサイドビュー。

マリンブルーとスカイブルー。

ふたつの青が、岬のグリーンと溶けあい遠くどこまでも広がる眺めは感動的な美しさです。

そのベイサイドビューを、タワー、ブリッジ遊覧船など、いろんな角度から楽しめる

若狭湾国定公園ならではの魅力をぜひ、堪能してください。



◎見学時間／10:00～15:00 最終受付時間14:30
◎土・日・祝のみ（団体の場合は、2週間前までに要調整）
◎問い合わせ／海上自衛隊舞鶴地方総監部 広報推進室
0773-62-2250
訓練等の都合で見学出来ない場合もあります。

海軍記念館

日本遺産構成文化財



東郷平八郎が舞鶴鎮守府初代司令長官として2年過ごした旧官舎

東郷邸
(旧舞鶴鎮守府司令長官官舎)

(司令長官官舎)

◎見学時間／10:00～15:00 最終受付時間14:30
◎公開日／1月を除く第1日曜日
◎問い合わせ／海上自衛隊舞鶴地方総監部 広報推進室
0773-62-2250

1964(昭和39)年に舞鶴地方総監部大講堂の一部を利用して設置された資料館。初代司令長官・東郷平八郎はじめ、日本海軍に関するさまざまな資料がおよそ200点余り展示されています。もともとは自衛隊員の教育施設でしたが、歴史を考える貴重な資料館として一般見学者も数多く来館しています。



第一庁舎 舞鶴地方総監部

日本遺産構成文化財



迫力満点の護衛艦が停泊する
海軍のまち・舞鶴の必見スポット

◎見学時間／10:00～15:00 最終受付時間14:30
◎公開日は海上自衛隊舞鶴地方隊ホームページをご確認ください。
(URL : <https://www.mod.go.jp/msdf/maizuru/>)
◎問い合わせ／海上自衛隊舞鶴地方総監部 広報推進室 0773-62-2250

昭和5年に建造された旧海軍機関学校は現在も自衛隊の施設として活躍しています。米軍により白く塗装されいましたが、平成14年に当時の姿に復元されました。

自衛隊桟橋

日本遺産構成文化財



国道27号線沿いに見られる自衛隊桟橋。最新鋭の護衛艦などが停泊しており、その迫力を目の当たりにできます（訓練等の都合で見学が出来ない場合もあります）。

「日本の20世紀遺産20選」に選定
「舞鶴の海軍施設と都市計画」は、海軍の赤れんが建造物や要塞、隧道、橋梁、水道施設といった施設、軍港都市の歴史を伝える格子状の街路を構成資産としており、これらは軍港都市という20世紀に登場した都市景観として、普遍的な価値があると評価されました。

平成29年12月に日本イコモス国内委員会が選定する「日本の20世紀遺産20選」に、「東海道新幹線や青函トンネル等と並んで『舞鶴の海軍施設と都市計画』が選ばれました。

「舞鶴の海軍施設と都市計画」は、海軍の赤れんが建造物や要塞、隧道、橋梁、水道施設といった施設、軍港都市の歴史を伝える格子状の街路を構成資産としており、これらは軍港都市という20世紀に登場した都市景観として、普遍的な価値があると評価されました。

日本遺産構成文化財

QRコード

▲あの時代にタイムスリップ!!
古地図アプリのダウンロードは
こちらから

南へ北へ、西へ東へ。
舞鶴の通りを軍艦が通る？



「日本の20世紀遺産20選」に選定

20世紀 日本の曙を求めて

20世紀が始まった1901年、

天然の良港である舞鶴湾に国の命運を握る

海軍鎮守府が開庁しました。

小さな漁村には当時の先端技術の粋が集められ、

国の港へと変貌を遂げました。



舞鶴物語 ~其の壱~

その時、この場所で、歴史は動いた。

1901年、舞鶴鎮守府の開庁とともに初代司令長官として赴任した舞鶴での2年間

34年10月1日、舞鶴鎮守府が開庁。その後日本海戦でその名が国際的に知られることとなつた東郷平八郎でした。赴任1年後の舞鶴町忠魂碑の除幕式で東郷はちょうど来港していた艦隊旗艦「初瀬」の軍樂隊に西洋音樂を演奏させ、数千人の参会者を驚かせました。また自分の娘を中心とした地元の学友らとともに徒歩で通わせていたというエピソードからは、舞鶴に根づき、一般の人々とも気軽に交流を深めようとする、気さくで進歩的な人間像がうかがわれます。



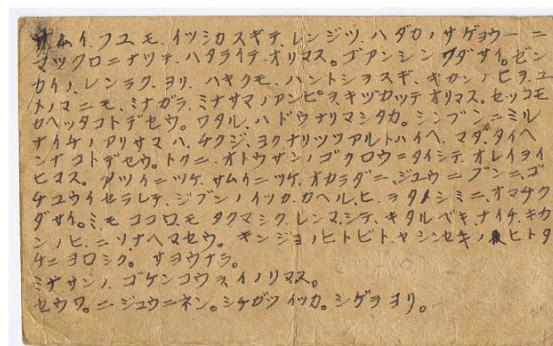
東郷平八郎 初代司令長官



引揚船の模型



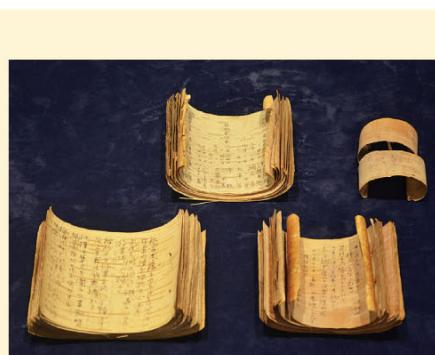
シベリア抑留中に着用していた防寒着



収容所から日本へ送ったはがき



抑留中に製作した麻雀パイ

登録資料「白樺日誌」
ノート代わりに白樺の皮を使
い、抑留中に書いた歌日記。

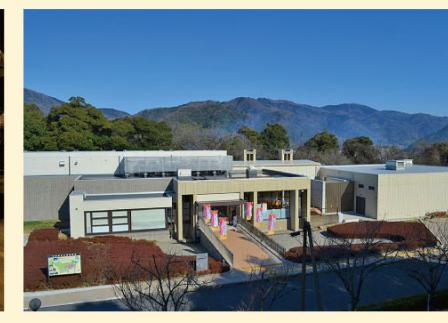
舞鶴引揚記念館は引き揚げと
シベリア抑留の史実を後世に伝え
るために1988(昭和63)年、引揚
者が祖国への第一歩を踏みしめた
舞鶴に開館しました。収蔵資料の中
から570点の資料が平成27年に
ユネスコ世界記憶遺産に登録され
ました。

館内の抑留生活を再現した空間
では実物の資料に触れることが
でき、平和学習にも適しています。
展示室には語り部が常駐してい
ます。

ユネスコ世界記憶遺産に登録 舞鶴引揚記念館

舞鶴引揚記念館は引き揚げと
シベリア抑留の史実を後世に伝え
るために1988(昭和63)年、引揚
者が祖国への第一歩を踏みしめた
舞鶴に開館しました。収蔵資料の中
から570点の資料が平成27年に
ユネスコ世界記憶遺産に登録され
ました。

館内の抑留生活を再現した空間
では実物の資料に触れることが
でき、平和学習にも適しています。
展示室には語り部が常駐してい
ます。



- ◎開館時間／9:00～17:00(入館は16:30まで)
- ◎休館日等／毎週水曜日
(祝日の場合はその翌平日)、
年末年始(12/29～1/1)
- ◎入館料／一般400円、学生150円
[団体] 一般300円、学生100円
※団体は20名以上
(赤れんが博物館との共通券あり)
- ◎問い合わせ／0773-68-0836

◎舞鶴港引揚物語

一再会のまち舞鶴

1945(昭和20)年の終戦後、およそ66万人の引揚者を迎え入れました。

その歴史を残そうと、平成6年に引揚桟橋を復元しました。

当時の喜びと悲しみのドラマがよみがえってくるようです。



復元した引揚桟橋

66万人の引揚者を迎えた
引き揚げと平和の象徴的スポット

昭和33年までの13年間に迎えた引揚者は
およそ66万人。
心身ともに疲れきった引揚者を舞鶴市民は
「お帰りなさい！ご苦労様でした！」と声を
かけ大きく手を振って迎えました。また、
ふるさとへ向かう列車に乗る引揚者にお茶や
ふかした芋などをふる舞うなど、心づくしの
おもてなしは多くの引揚者に感激され
ました。

昭和33年までの13年間に迎えた引揚者は
およそ66万人。

心身ともに疲れきった引揚者を舞鶴市民は
「お帰りなさい！ご苦労様でした！」と声を
かけ大きく手を振って迎えました。また、
ふるさとへ向かう列車に乗る引揚者にお茶や
ふかした芋などをふる舞うなど、心づくしの
おもてなしは多くの引揚者に感激され
ました。



引揚記念公園展望台

昭和20年、第二次世界大戦が終結し旧満州
や中国大陸、朝鮮半島、樺太、グアム、サイパン
などに軍人・民間人など約660万人の
日本人が残されていました。これらの人々が
日本へ帰国したこと、「引き揚げ」といい
ます。舞鶴、浦賀、佐世保など10港が引揚者
を迎える港として指定されました。

舞鶴港は主に、旧満州や朝鮮半島、旧ソ連
からの引揚者を受け入れる港となりました。
旧ソ連に運行された軍人・軍属や一部の民間
人は極寒のシベリアで強制労働を強いられ
多くの命が犠牲になりました。旧ソ連からの
引揚げは昭和21年に開始され約46万人
の方々が苦難の末に舞鶴へ帰国の第一歩
を踏みしめ、家族と感動の再会を果たし
ました。

舞鶴港は主に、旧満州や朝鮮半島、旧ソ連
からの引揚者を受け入れる港となりました。
旧ソ連に運行された軍人・軍属や一部の民間
人は極寒のシベリアで強制労働を強いられ
多くの命が犠牲になりました。旧ソ連からの
引揚げは昭和21年に開始され約46万人
の方々が苦難の末に舞鶴へ帰国の第一歩
を踏みしめ、家族と感動の再会を果たし
ました。

細川軍五百人 vs 西軍一万五千人。



あの時代にタイムスリップ!!
古地図アプリのダウンロードは
こちらから

もうひとつの関ヶ原 田辺籠城戦



田辺籠城図（大泉寺所蔵）



田辺城御城印
(田辺城資料館にて販売)

◎問い合わせ/
田辺城資料館0773-76-7211
(休館日等、詳細はP.30参照)



朝代神社
西暦673年創建と
いわれる古社で
吉原の太刀振が行われる

創建は古く、西暦673年。以来、舞鶴の歴史を見守ってきました。祭礼では4年に一度行われる吉原の太刀振や神楽などを奉納。現在でも人々の信仰を多く集めています。

◎問い合わせ/0773-75-0132



円隆寺
奈良時代、
行基が創建した寺で
独創的な建築様式を有する

西地区、愛宕山のふもとにたたずむ寺院。奈良時代に行基により建立されたと伝えられています。丹後大仏といわれる阿弥陀如来などの重要な文化財も多く伝えています。

◎問い合わせ/0773-75-1193



桂林寺
細川幽斎のため
田辺籠城戦に参戦。
仏涅槃図や梵鐘を与えられた。

室町時代に竺翁雄仙によって創建。田辺籠城戦の際、桂林寺の大溪和尚は、幽斎の長年の恩顧に応えるべく、弟子14人を引き連れ、幽斎の軍に志願します。のちにこの勲功に対し、忠興は仏涅槃図や梵鐘を贈りました。中国の文化に影響を受けた諸堂が建ち並ぶ境内は、異国情緒にあふれ、魅力的です。

◎問い合わせ/0773-75-0168

城下町の風情を感じさせる古いお寺や神社がいっぱい。

現在、人口約10万人以上の都市のおよそ半分以上は城下町を起源としています。しかし、戦災や都市開発などにより、往時を偲ぶことのできる城下町は少なくなつており、舞鶴の風情あふれるまちなみは、それ 자체が魅力なのです。

城下町田辺の発展

田辺籠城戦のあと、江戸時代になると舞鶴

は北前船の寄港地として発展を遂げました。

とくに町の西側を流れる高野川河口に

位置する竹屋町は大商人が多く居住し、

藩内の商品流通を全国の市場へと結びつけ

る、いわゆる交易拠点になっていました。

竹屋町周辺には「在通り」と呼ばれる行商

伝承者であった幽斎の討死を

憂慮したのでした。天皇の勅命

とあって西軍はただちに包囲を

解き、およそ2か月にわたる

籠城戦が幕を下ろしたのでした。

天皇は古今和歌集の秘事口伝の

勅命が遣わされます。後陽成

天正10年(1582)、本能寺の変が勃発

すると藤孝は信長に弔意を示して出家。

盟友光秀からの支援要請を断つて秀吉

に味方し、以後幽斎と名乗ります。

その後、家康に従つて関ヶ原の合戦を

前に東軍を支援するなど、武将として

優れた判断力と決断力を發揮し、激動の

戦国乱世を生き抜きました。また、芸能

に優れ、歌道・能楽・音楽・茶の湯など、

当代一の文化人として一日置かれる

存在でした。

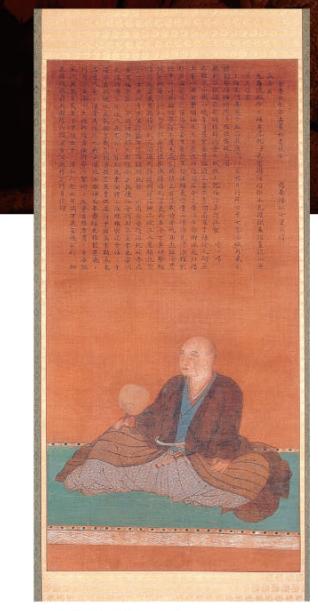
細川藤孝(幽斎)は、天文3年(1534)に、室町幕府の將軍に仕える三淵家と、学問にひいでた公家・清原家の間に生まれ、元服して藤孝を名乗ります。足利将军に長く仕え、後に織田信長に従います。信長の重臣であった明智光秀とは盟友として親交があり、光秀の娘・土官(後の細川ガラシャ)が藤孝の嫡子・忠興に嫁いだことで親類となります。天正6年(1578)からの信長の命で進められた丹波・丹後の平定では、盟友光秀と共に戦い、信長の勢力拡大に貢献しました。藤孝は丹後國を信長から与えられ、統治を始めます。

細川藤孝(幽斎) 光秀の盟友、田辺城にあり!

もうひとつの 関ヶ原

戦国の世に、燐然と輝く文化力

もうひとつの関ヶ原といわれる激動の物語を巡ってみませんか



細川幽斎像(天授庵所蔵)

舞鶴西エリア



神崎・ホフマン式輪窯
映画「ぼくんち」(2003年公開)



勾崎公園
ドラマ「義父のいる風景」
(2000.11.27放送/TBS)



大君
ドラマ「新・科搜研の女SP」
(2008.3.13放送/テレビ朝日)



舞鶴漁港
ドラマ「新・京都迷宮案内」
(2006.2.23放送/テレビ朝日)



吉原・水無月神社付近
ドラマ「ええによば」(NHK連続テレビ小説)
(1993.4~10放送/NHK)



見樹寺
ドラマ「義父のいる風景」
(2000.11.27放送/TBS)



大庄屋「上野家」
映画「あの日のオルガン」(2019年公開)



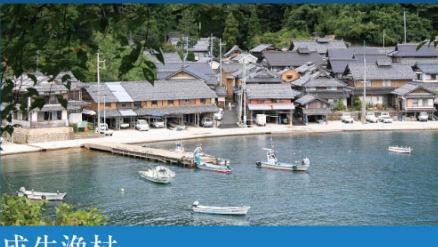
吉原・日の出湯
映画「ニワトリはハシだ」(2004年公開)

大浦エリア



田井漁港

映画「海賊とよばれた男」(2016年公開)
©2016「海賊とよばれた男」製作委員会 ©百田尚樹/講談社



成生漁村

映画「ぼくんち」、映画「男たちの大和/YAMATO」
映画「ALWAYS 三丁目の夕日'64」、ドラマ「鶴、京都へ行く。」など



瀬崎・博奕岬灯台

映画「エイジアン・ブルー」(1995年公開)



三浜バス停

映画「ぼくんち」(2003年公開)



成生漁港灯台

ドラマ「京都地検の女4」(2007.12.20放送/テレビ朝日)



引揚桟橋

ドラマ「新・人間交差点」(2006.9.2放送/NHK)

Maizuru Location MAP



大浦エリア

- ①成生漁村
- ②田井漁港
- ③竜宮浜
- ④旧丸山小学校
- ⑤三浜地区
- ⑥博奕岬灯台
- ⑦葦谷砲台跡
- ⑧引揚桟橋

舞鶴東エリア

- ⑨旧火薬廠
- ⑩日本板硝子(株)舞鶴事業所
- ⑪舞鶴警察署東庁舎
- ⑫前島埠頭
- ⑬赤れんがパーク
- ⑭旧北吸浄水場配水池
- ⑮旧東郷邸

舞鶴西エリア

- ⑯勾崎公園
- ⑰吉原地区
- ⑱舞鶴漁港
- ⑲見樹寺
- ⑳大君地区
- ㉑ホフマン輪窯

Maizuru Location Library

舞鶴東エリア



ホテルアマービレ別館(松栄館)
映画「海賊とよばれた男」(2016年公開)
©2016「海賊とよばれた男」製作委員会 ©百田尚樹/講談社



赤れんがパーク
映画「日本のいちばん長い日」(2015年公開)
映画「天外者」(2020年公開)



赤れんがパーク
ドラマ「新・人間交差点」、映画「寒椿」、映画「夜汽車」、
映画「男たちの大和/YAMATO」、
劇場版「名探偵コナン」「絶海の探偵（プライベート・アイ）」
映画「海賊とよばれた男」(2016年公開)
©2016「海賊とよばれた男」製作委員会 ©百田尚樹/講談社



赤れんがパーク
ドラマ「妻と飛んだ特攻兵」(2015.8.16放送/テレビ朝日)
映画「わたしの幸せな結婚」(2023年公開)



東郷邸
映画「日本のいちばん長い日」(2015年公開)
映画「天外者」(2020年公開)



赤れんがパーク
©2006「ボルトの楽園」製作委員会



JA倉庫(旧火薬廠隧道式火薬庫)
映画「日本のいちばん長い日」(2015年公開)



旧北吸浄水場
映画「日本のいちばん長い日」(2015年公開)



赤れんが5号棟
映画「日本のいちばん長い日」(2015年公開)
映画「わたしの幸せな結婚」(2023年公開)



日本板硝子(株)舞鶴事業所社宅
映画「日本のいちばん長い日」(2015年公開)



赤れんが倉庫内部
映画「吳清源 極みの棋譜」
(2007年公開)



松尾寺駅舎
映画「祈りの幕が下りるとき」(2018年公開)
映画「あの日のオルガン」(2019年公開)



東舞鶴駅
映画「飢餓海峡」(1965年公開)



海上自衛隊舞鶴教育隊
映画「七つボタン」(1955年公開)

季節の歌を、まちの色彩を、愉しむ

舞鶴の歳時記

Maizuru city a compendium of season words

3月

舞鶴自然文化園ツバキまつり
(3月中旬～3月下旬)

約1,500種3万本のツバキ園では、日本椿・洋種椿など、色あざやかなツバキが春を彩ります。カメリアハウスでは、貴重な原種・唐椿等を観賞することができます。



4月

舞鶴つつじまつり
(4月下旬～5月上旬)

東舞鶴公園で開催されるつつじまつり。市の花であるつつじ2万5千本が咲きそろいます。毎年5月4日には、さまざまなイベントも行われます。



5月

松尾寺・卯月八日の仏舞
(5月8日)

きらびやかな出立の6体の仏たちが雅楽に合わせて舞う「卯月八日大法要」の伝統行事（国の重要無形民俗文化財）



若狭富士の名で知られる青葉山の中腹に建つ松尾寺は西国三十三所第二十九番札所。国宝普賢延命像（絵画）をはじめ快慶作の阿弥陀如来坐像など多くの文化財を所蔵し、春秋の各2ヶ月間境内の宝物殿で展示公開される。



田辺城まつり
(5月下旬)

武者行列や芸屋台、伝統芸能などお城のまちらしい催しがいっぱい。城下町田辺の歴史と文化を今に伝えるイベント。武者行列がまちをねり歩き、立ち並ぶ芸屋台では伝統芸能が披露されるなど、魅力がいっぱいです。



6月

雄島まいり（6月1日）

年に一度、冠島に上陸し、漁民の信仰が厚い老人嶋神社に参拝する行事。舞鶴では昔から冠島は神の島とされ、「雄島さん」と呼ばれています。

水産庁・未来に残したい漁業漁村の歴史文化財選定。



舞鶴自然文化園アジサイまつり
(6月中旬～6月下旬)

舞鶴湾を望む谷間をひと目10万本のアジサイ園。観賞アッキからは、青色のアジサイが咲き誇る「アジサイの海」が一面に広がります。



7月

みなと舞鶴ちやつたまつり
(7月下旬)

夏の訪れを告げる神崎・竜宮浜・野原の3か所の海水浴場での海開き。日本海沿岸の美しい海を楽しむことができます。



海開き
(7月上旬)



8月

「ツバキ」	3月中旬～3月下旬	舞鶴自然文化園
「タムシバ(ニオイコブシ)」	3月下旬～4月上旬	建部山
「桜」	4月上旬	共楽公園・匂崎公園・舞鶴公園 大波街道・与保呂川沿い・自衛隊桟橋
「しだれ桜」	4月上旬	瑠璃寺
「ハ・重桜」	4月下旬	引揚記念館
「ツツジ」	4月下旬～5月上旬	東舞鶴公園
「アジサイ」	6月中旬～6月下旬	舞鶴自然文化園
「萩」	9月上旬～9月下旬	多福寺
「紅葉」	11月中旬	金剛院／五老ヶ岳公園／舞鶴自然文化園

8月

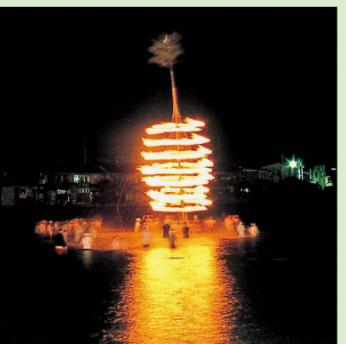


城屋の揚松明
(8月14日)
400年以上前から伝わる伝統行事。高さ16mの大松明に小松明を投げ入れ、勇壮な祭りが始まります。
府登録・市指定文化財。



小橋の精霊船
(8月15日)
海崎寺にまつられた施餓鬼法要の旗やお供物などが積み込まれた精霊船。ご先祖さまの御靈を海に送ります。

府登録文化財。



吉原の万灯籠

(8月16日)
海神を鎮めるために始まった勇壮な盆の火祭り

伊佐津川の河口にかかる大和橋上手の川中からスタートするという珍しい火祭り。最大幅5mにもなる万灯籠の炎に漁業の安全を願います。

府登録文化財。

9月

まいづる
魚まつり

(9月第4日曜日)
舞鶴の海の幸を存分に楽しむことができるイベント。市民参加のせり市、海鮮バーベキュー、寿司卸売りなどが開催されます。



10月

地頭太鼓・大俣太鼓

(10月上旬)
源頼光による大江山の鬼退治伝説にちなんだお祭り。勇ましい和太鼓のリズムが舞鶴に鳴り響きます。



舞鶴赤れんがハーフマラソン（10月上旬）



11月



吉原の太刀振（11月3日）

朝代神社の祭礼に、4年に1度奉納される民俗芸能です。戦国の武将・細川氏が吉原漁民に伝授した武道の型を、今の時代にまで伝えるものです。

府登録・市指定文化財。

金剛院の紅葉・雪景色

国の重要文化財である三重塔のほか紅葉や雪景色の美しさも名高い

平安時代初頭に高岳親王が開創したと伝えられる金剛院。自然が多く残されており、四季折々の景観を見るることができます。特に秋の紅葉と、冬の雪景色は美しいと評判です。

Maizuru Area Map

舞鶴エリアマップ

雄大な自然や歴史ドラマ、貴重な文化遺産など、多くの魅力に彩られたまち・舞鶴。ここでは、代表的なスポットを紹介します。また、クローズアップしている西エリアと東エリアでは、気軽に散策も楽しむことができます。



赤れんが 建造物 トンネル
桜 つつじ つばき あじさい 紅葉



観光施設一覧

名 称	問い合わせ先	入 場 料	開館(閉館) 時間	休館日(その他)	トイレの有無
舞鶴赤れんがパーク	0773-66-1096	無料	9:00~17:00(夜間利用の場合は22:00)		
赤れんが博物館	0773-66-1095	(一般) ¥400 (学生) ¥150 団体割引あり ※1~※4	9:00~17:00 (入館は16:30まで)	12/29~1/1	
海軍ゆかりの港めぐり遊覧船	090-5978-8711	大人(中学生以上) ¥1,500 小人(3歳~小学生) ¥800			
舞鶴引揚記念館	0773-68-0836	(一般) ¥400 (学生) ¥150 [団体] (一般) ¥300 (学生) ¥100 ※団体は20名以上 ※1~※3	9:00~17:00 (入館は16:30まで)	毎週水曜日 (祝日の場合はその翌平日) 12/29~1/1	
舞鶴親海公園 海釣護岸	公園管理・海釣護岸 レストランエムズデリ 0773-68-1663 市農林水産振興課 0773-66-1023	無料	7:00~17:00 (12月~3月) 7:00~18:00 (4月~5月、9~11月) 7:00~19:00 (6月~8月)	毎週水曜日(その日が祝日のときは、その翌営業日) 年末年始	
レストランエムズデリ	0773-68-1663		11:00~15:00 (夜間は予約制)	毎週水曜日、第1・3・5木曜日 (その日が祝日のときは、その翌営業日) 年末年始	
エル・マールまいづる	0773-68-1090	無料 プラネタリウム鑑賞は有料 (高校生以上) ¥200 (小中学生) ¥100 ※3 団体割引あり (30名以上2割引)	9:30~17:30	毎週火・水曜日 (祝日のときは翌営業日) 12/29~1/3	
舞鶴ふるるファーム	0773-68-0233	コテージは有料	レストラン 平日 11:00~15:00 土 18:00~21:00 お菓子工房 10:00~16:00 マーケット 9:00~16:00 コテージ 16:00~翌日10:00 ※要予約 体験については要問い合わせ	火曜日、第3木曜日 (ただし祝日は営業)、年末年始 (詳細はHPをご確認ください)	
大庄屋上野家	0773-83-1600	資料館(無料)	10:00~16:00	水、不定休あり 年末年始 (12/29~1/3)	
五老スカイタワー	0773-66-2582	(大人=高校生以上) ¥300 (小人=少・中学生) ¥150 ※2	(4月~11月) 平日9:00~19:00 (入館は18:30まで) (4月~11月) 土日祝9:00~21:00 (入館は20:30まで) (12月~3月) 9:00~17:00 (入館は16:30まで)	なし ※但し、台風、積雪等の時は休館する場合あり	
田辺城資料館	0773-76-7211	(一般) ¥200 (学生) ¥100 ※市内在住又は市内へ通学の学生は無料 [団体] (一般) ¥150 (学生) ¥70 ※団体は20人以上 ※2 ※3	9:00~17:00 (入館は16:30まで)	毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は、その翌々日)及び祝日の翌日 12/29~1/3	
舞鶴ふるさと発見館(郷土資料館)	0773-75-8836	(一般) ¥100 (学生) ¥50 ※市内在住又は市内へ通学の学生は無料 [団体] (一般) ¥70 (学生) ¥30 ※団体は20人以上 ※2 ※3	9:00~17:00 (入館は16:30まで)	毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は、その翌々日)及び祝日の翌日 12/29~1/3	
商工観光センターまいづるベイ・プラザ	0773-64-6800	無料	9:00~22:00	12/29~1/3	
海上自衛隊施設 自衛隊棧橋 海軍記念館 東郷邸	海上自衛隊舞鶴地方総監部 広報推進室 0773-62-2250	無料	【棧橋】不定期 【記念館】土日祝 【東郷邸】1月を除く第1日曜日	平日 海上自衛隊 HP 訓練等の都合により見学できない場合もあるので事前に要確認。団体は2週間前までに調整が必要。	
舞鶴航空基地	海上自衛隊舞鶴航空基地 総務室広報係 0773-62-9100	無料	14:00~15:00(土・日・祝のみ)		
多福寺	0773-62-1180 (金剛院)	¥500 (宝物殿拝観)	(4月~10月) 9:00~17:00 (11月~3月) 9:00~16:00	不定休あり	
金剛院	0773-62-1180	¥300 (拝観料) ¥500 (宝物殿拝観)	9:00~16:00	なし	
松尾寺	0773-62-2900	¥800 (宝物殿拝観)	参拝 8:00~17:00 宝物殿 9:00~16:00 (要予約)	宝物殿拝観については、春と秋に展観	
松尾寺駅前 觀光交流施設 (お茶の流々亭)	0773-63-7770 (お茶の流々亭)		10:00~17:00 (お茶の流々亭)	月、日 (お茶の流々亭)	
舞鶴自然文化園	舞鶴市土木課 0773-66-1053	(大人) ¥500 (小人) ¥250 ※2 ※3	ツバキ園(3月中旬~3月下旬) アジサイ園(6月中旬~6月下旬) 紅葉園(11月中旬~11月下旬) (最終入園16:00)	ツバキ園、アジサイ園、紅葉園以外の日	
青葉山ろく公園 パター・ゴルフ (グラウンドゴルフ)	0773-62-2339	(大人) ¥500 ※2 (小人) ¥250 ※2	9:00~17:00	12月~2月	
グリーンスポーツセンター(キャンプ)	青葉山ろく公園管理棟 0773-64-5454	ログハウス・キャンプ施設の利用は有料(日帰りは半額) ※2	9:00~17:00 (予約制)	12月~2月	
陶芸館	0773-64-3263	(大人) ¥400 (子ども) ¥100	9:00~17:00 ※陶芸体験料金についてはお問い合わせ下さい	毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は、その翌日) 12/29~1/3 2月休館あり	
道の駅 舞鶴港とれとれセンター	①海鮮市場 (さかなセンター協同組合事務所) 0773-75-6125 ②道の駅 (ふれあい情報プラザi-cafe) 0773-75-9945	無料	①海鮮市場 9:00~18:00 ②道の駅 9:00~17:00	①海鮮市場 毎週水曜日・1/1 (ただし、祝祭日は営業、12月は無休、他に特別休業日あり) ②道の駅 1/1~1/3	
舞鶴かまぼこ手作り体験工房	お問い合わせ:舞鶴観光協会 0773-77-5400	¥2,500/人	14:30~16:00 定員35名 4日前までに要予約(最少催行人員3名) 予約はHPから	12/10~1/10 (他に臨時休館有り)	
まいづる観光ガイドセントラル		無料	9:00~17:00 (5月~10月) 9:00~16:00 (11月~4月)	平日、年末年始	

*1 赤れんが博物館と引揚記念館の共通券があります(一般¥600、学生¥200) *2 障害者手帳をお持ちの方は半額 *3 障害者手帳等を所持する方が入場するために必要な介助者は1名無料

*4 団体(20人以上)一般¥300、学生¥100

観光ガイドボランティアのご案内(お問い合わせ:「けやきの会」TEL 0773-62-5533)

●対象:原則として10名以上の団体 ●内容:舞鶴市内の添乗ガイド ●料金:ガイドの諸経費(交通費・駐車料金等)として2,000円(2時間まで) 2時間以上・1日等の場合は要相談

ほかにもまだまだ楽しめる おすすめスポット

みどころいっぱいの舞鶴には、まだまだ行っておきたいスポットが目白押し。
市内中心部だけではなく、足をのばしてアクティブに、舞鶴の端から端まで満喫してください。



舞鶴ふるさと発見館(郷土資料館)

縄文時代に始まり江戸時代の城下町を経て海軍ゆかりの近代都市の形成に至る舞鶴の歴史を展示。舞鶴の魅力を集め、まち歩きの見所情報を提供しています。



松尾寺

※令和8年末まで修理工事進行中
西国三十三所第29番札所。境内の美しさ、文化財はもちろん「仏舞」が執り行われる寺として有名。日本遺産認定。
「まつのおさん」の愛称で知られ、古来馬頭観音の聖地として広く人々の信仰をあつめてきました。



多福寺

聖徳太子の弟・麻呂子親王から始まった飛鳥時代に起源を持つ由緒ある寺院。
大浦半島にある西国薬師霊場第30番目の札所。古くからの貴重な歴史文化財を多く伝えています。



舞鶴自然文化園

国内外の貴重な植物を集めめた自然豊かな公園。

3万本のツバキ園、10万本のアジサイ園といった季節の美しい風景が楽しめます。



青葉山ろく公園

キャンプ場・ログハウス・陶芸館・パターゴルフ場・フィールドアスレチック・バスケットボールやスケートボードができるニュースポーツ広場等があり、ファミリーが1日楽しめる自然あふれるレジャー施設です。



舞鶴ふるるファーム

家族みんなで楽しめる、自然に恵まれたあつたか、ほっこり農園。
農村レストランや手づくりお菓子工房、マーケットや体験教室、宿泊コテージなど、緑に囲まれた農業公園です。



舞鶴かまぼこ手作り体験工房

港まち舞鶴ならではの体験工房。
舞鶴特産のかまぼこ、ちくわ、てんぶら作りの体験と試食ができます。



道の駅舞鶴港とれとれセンター

舞鶴のブランド商品「舞鶴かに」をはじめ新鮮な海の幸がたっぷり。
舞鶴港で水揚げされた海の幸をその場でお買い求めいただけるほか、その場で食べることもできます。



大庄屋上野家

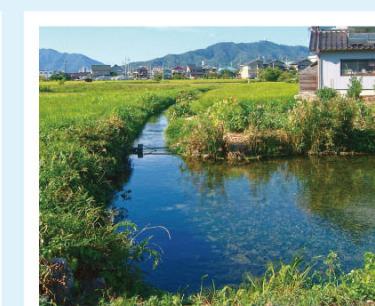
江戸時代のお屋敷で、ほっこり一息。
建物は、国の登録有形文化財です。書院庭園は、京都府の指定文化財として登録されています。資料館(無料)もあり、上野家当主の往時の貴重な資料等をご覧いただけます。

地域の宝! 環境省選定「平成の名水百選」



おおさきしみず
大杉の清水

杉山地区にある大杉神社の祠(ほこら)付近からわき出る水は、日量約2,000トン。古来より、かんがい用水のほか、わさび田や酒米づくりにも愛用され、近年NPO法人名水の里杉山による自然環境の保全や水を活かした地域おこしが進められています。



まないしみず
真名井の清水

辺城主細川幽斎が日本最古の上水道の水源として用いたと伝えられる清水。「御水道(おすいどう)」掃除など、今なお地元自治会が中心となって保全の取り組みが行われていて、用水路にもかわらず美しい水辺環境が維持されています。



交通のご案内

●車

京都から 京都縦貫自動車道、舞鶴若狭自動車道で約100km
 大阪から 中国自動車道、舞鶴若狭自動車道で約130km
 国道176号、173号、27号で約115km
 (池田、瑞穂経由)
 名古屋から 名神高速道路、北陸自動車道、舞鶴若狭自動車道で約190km

●高速バス

京都から 直通で約1時間50分
 大阪(梅田)から 直通で約2時間10分
 大阪(なんば)から 直通で約2時間10分
 神戸(三宮)から 直通で約2時間

●鉄道

京都から 山陰本線、舞鶴線で約1時間40分(特急)
 大阪から 京都経由で約2時間20分
 敦賀から 小浜線で約2時間

●フェリー

小樽行 所要時間約21時間

交通機関へのお問い合わせ(市外局番0773)

●鉄道

JRに関するお問い合わせはJR西日本お客様センター
 TEL 0570-00-2486(6:00~23:00年中無休)
 丹鉄西舞鶴駅 75-8606

●小樽行きフェリー

新日本海フェリー 62-3000

●バス

京都交通(舞鶴営業所) 75-5000
 高速バス予約センター 76-8800

●レンタカー

Jネットレンタカー舞鶴店 78-2266
 オリックスレンタカー東舞鶴店 64-0039
 オリックスレンタカー西舞鶴店 77-0039
 トヨタレンタリース京都 75-8100

●タクシー

京都タクシー(東舞鶴) 62-1414
 (西舞鶴) 75-1414
 日交タクシー(東舞鶴) 62-3535
 (西舞鶴) 75-1188
 ふく福タクシー 66-5200

観光に関するお問い合わせ

舞鶴観光協会

- まいづる観光ステーション 営業時間 9:00~17:00

TEL.0773-75-8600 FAX.0773-75-8602
 Eメール info@maizuru-kanko.net
 〒624-0816 舞鶴市伊佐津213番地の8
 西駅交流センター内 [年末年始休]

・事務局

営業時間 9:00~17:00

TEL.0773-77-5900 FAX.0773-77-5401
 〒625-0080 舞鶴市字北吸1039-2



<https://www.maizuru-kanko.net/>

製作：舞鶴市観光振興課
 〒625-8555 舞鶴市字北吸1044番地
 TEL.0773-66-1024
 FAX.0773-62-9891



あの時代にタイムスリップ!!
 古地図アプリのダウンロードは
 こちらから

